

	號	4	î			八		百		八	-	第						-		-		最				Æ			派	¥		Ę	H			-	- 1					ナ <u>デ</u>	E大		(p				TE:	===		(=	.)	==
神・決議文サ『ユハ町』氏の交附の一切を決議文サ『ユハ町』氏の交別の一切の		の英佛の一致の州耳の中	一行の依ちの消滅者も信むい土耳其	英、佛、協商の『星外し六』倉蔵の成 (倫敦九月發電) 露興側の月と	英俳一到	本認がり 早決すい	(華盛頓十日發電) 米姆上院財政委員會小	一 英米債務整理案承認決定	お閉合式を學行する軍備制限及仲裁條約の(倫皇子上資品) オースを照りるいち	日子を言じ	コトデを見り	· 用發	一月一時他	し、と	ご蜀逸馬だって物で	● ● ● ● ● ● ○ ○	· 市安可引。可	所報を依む則佛國の「早の」占領や「二	f,	一字 占領影響 源	規則が川耳呼可以事務立極可不	激昂の甚ず五叉『라マ』地方の鐵道	一名旅の合合を解散がある事件にの一名旅館品を徴發する又騎兵の見り	在が佛軍の家屋馬糧外の自轉車等	(伯林十一日發電) 占領地域 8 11112		来者不聽の見罷祭むけ立成縣の日 中菜む故呈佛軍の同地方者経戒の七日份	リ交渉の決裂を故呈總四盟罷業き 宣	は後電)	一炭坑夫同門	東洋人の	(軽変質と166年) 米州下院 野雪の米 図 下	東洋人入國	b	◆=\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	行き組織可立如左司決議司以付引き四	自東	城 自决會決議							一日中醫衝突——	**	数すいる抗議すがいて、	警察署撤廢要	豆亦 9	主主義の奪車、平和統一、親兵中央集	便可要は中国日本系文化十分時間 て代の本天電) 張作霖孫文明氏の提携小	張孫兩氏意見	中國	
で員長平台談で結果点近々開始で	5月上八十英折斗中日客风小多端收时则英斯科叶村路园专横蹦路冰水	(倫敦八日發電) 莫斯科報道書台	日露議説	けいのととは高い道を開発氏のかっては、大口中	三部大のドウエ『日人町』氏を踏大工	而 4 入 列 三 3 4 赛 國 代 表	英米債務整理案可部分	=	間川がタイトの日本			のでは4月41周月間直を4人がでは四月4日) 伊太利下院のは『ひみ、9月4日候約を 批准する			・	11/2	1 72			サ大同と『早~り』也が写著後で科して紹代議士『早~り』氏を代議院では「	(羅馬十一日發起) 伊太利社會 4%	『早り』地方問題	伊氏 居 批 難 一		三馬売り叶り十三年初騰か五米一郎や三萬八百二十二十			總回照龍業を宣言の正丁中の地方で五坑六小龍一川		明記案	計			,,	情 似——《	関合の提出が受ける	案 員		<u> </u>	中 昼			おユ必要の應当の 公債募集 改二 素少素後の宝。 関ののお析	三、兄に等をは1月1日からを建一、日本教徴な事 い	一、废東平民治多實行等五軍隊一、		で変数が単位経りません。				て炎性を多くの後を引きられている。道番廣東の局面一轉の依朴の一省『主	一 致	局一〇	
	2日中大学 - 左中川日 - 八〇日 - 大学 - 一一	中央金庫法律案を提出すめて引き、一个後十一時日本衆議院の産業組	法律案提出	產組中央金庫	ふからいでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	原門へ土井棚大の		動銀割增金可聞社質問(佐々	・農村振興の根本政策確立の関一	の関む質問(松本君平氏)		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	一、决議案(陸近々備の整理縮少可	法律案(政府提出) ————————————————————————————————————	(政府提出)	· 大學特別會計法中收正法律案 者	一、右議祭『審査号附托甘姜貞』 朋	器专求整件) 品外可以移筑起途支出。4件(平)	9件、大正口年度特別行計政衛制	大正十年度特別台計像備金支出一治	、大正十年变象前灸友出9牛、 憲後一時院費)	川程や左斗如からい	東京電)日本紫護院議事十二日		下院議事日程	提出의四条《皆即决否决》	《上案鄉物价費稅法中收正法律·設	一、地租條合中改正法律案醬油稅 980	地租條守護止案革新、庚申提出	平如司可決計 平如司可決計 1	石油省資稅實藥稅印紙稅叫改一百	出之修正平如可可決事 一、營業稅法中收正法律案政府提展。	山子否決計 一条当岸新伊楽部排 ずい	Ŝ	及政友打提出4二条修正斗如司 (所得稅法中改正法律案+政府	- 어 /	タフな	下記里袋として	,所得稅法中改正法律案 (衆醫 the fix) 是 12 12 14	PK处法P文正法B经(同上) - 質樂稅法中收正法律案(同上) - 。	方 一 石油市 资税法廢止法律米(同一、	· 答案稅法中收正法律案(同上)	正法律案(同上)	一、市町村授務教育費國軍養院法 & 蛟定法律案、衆議院子は週附) ◆	、明治四十年法律第二十一號中 ※選舉	右路集の審査・開托を委員の一下	一、醫師法中收正法律案(政斯拼)及	十里中左中切44.下前上诗周台)。 《東京館》 日本貴族院護事十日 』	十三月二、	上院議事日毘	中で、日に三州に二家投外逝去が [1]	(伯林蔵化)『すっ』・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	「則之民族對對一、「可是也」氏逝去	
7作殿の對おり考究中の各不遠間では深の上来議院の芝出おりる不遠間で	人の行りに目下比其也	事時	矢事る影響	中軍公里安	は31曹澤栄さ衆議院が提派と十川の前期的台の提	京心)日本衆共院内の曹	皆選案	勃	○星認하呼一切の公職の選挙対し、晋人を曹邁即行を陝民の公赦	中語形立意的手段され	、吾人や曹選即行の目的を送る	2	一方同志の協心、協力	遊進の中初志喜貫徹を機會小温品	後記り十八平照十十層の日官僚の中个の各	調が七	罪が不足いけ可食が小感習が	少人小通過対天計	山小無計ユ聖麗家ユ廣可窓政権を興	数與論"政治可引不條理	引政治の日限民の まい	新了を命き長対よういす	決談文の如左から引	後五時散合する	有하ゅ曹選熱や酸吹ん上京も各際能及必	の熱辯さい	、植原其也各組造り即決可決り有む後望	後森昭氏の宣言決論	正確高の正芝比い間	田淵、馬提氏等	以外の ない は は は ない ない ない ない ない ない ない ない は いい は い	概氏ま	合場や河野廣中氏外座	個所の設計)日本學選聯合大概	普選 高 會		こむユ無記名叫附三計(以下省一日) 産業債券・金額五十圓以上ニー	お立企業債券置き	· 産業組合甲央金庫七拂入金9	組合金庫モ定期	近郊机合中央金庫七必要がより	が実際情報を	日子之上的意义————————————————————————————————————	貨出がユ	假造			産業組合中央金庫す出資量ス 八位政府モニ千五百属側号膜定針 七米	こ百口を超過	産業組合与外出資者で帯で不一へ	177分(177)の177分(177)の177分(177)の177)の177)の177)の177)の177分(数水金+三千鸡圆≤ 生卟以比	子と明用を受定地下時日生と「子母
総条す 引且昨年4大多数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	子や別批陪審法や必要替予認べ	中二旦サリハ不赞成4の円三斗 中二旦サリハ不赞成4の円三斗	今月提出する理由を何處可在むの規制を正確	北号一般投票の依対のりかモルード・アングランド 作品で	皆小川から可い口外・は可文。 定当を抽籤のま行も時を何如む	はいない	理由モ不可能の可智的要件のでは	内以『見いばない	沙上	考中	豆 所可同一 弘 此 比 七 充分 可 好 公	すら大修正さ加む除地が無むめる。以外谷や前人閣の提ぶむ者の對	七 向且以良 自 餘地小有 すり木字 夕	裁判制	三有が十無むといこ優越が三日 優	日本	五余七爲先此者不可解呈思惟言一四	E見号川上本帯申よん然可している。	思要非難す立前八閣 現余斗木 上	日々刃抛棄すめモル現裁判当時の日政府七何故王本祭の提出を今日	七き見信が七八萬若非難の行む」	國民可何等可攻歐三加利非日和中西州之村在少妻年都用。聖事。」	タガニルとり 送川川芝りサルト かおいれい コントランス いっぱい コントラント	小無かけ立七信かけ或時の七郎 O	政府と現在の裁判制度のと弊害 山む者が有なせ演説がなるのの日 言	説中の司法裁判中の七公平を映二	可又高海及友で悠聞と或で写演 「母裁判制度可缺陷の無하け云言」	也事小有引立某政府委員や現在	ヨツミサ前心閣時代本案+提出 一年の至かの提出者や展が選択	勝太郎氏 陪審法系		阿氏曼器與判計せか総政治の本	法相 司法事務工對非認合) 4-1科5元	口程 3 一 陪審法案 (政府 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	有	盛况专呈可正午後一時十	程帯論を記れる	議院本省議卡各種税制整			元	当	す選出が非合同條件の協議が入っては、日本の関する。		機運す祭りる路撃者と「写資金す姿な」と突然	新級早建	二菱、鈴木、大川等=巨順のともおの数はそこ	から成る	記さず呆笠かの年年二百一比等の私股級道で對から	父帝却引至決定がウモル網督府 []	電)朝鮮私股帳道十計	乳解和設備道	日本には大きない。	11年的十世代中上中美国十二十
急速可形的引引的政友內圍門	ह उ	の斗行政整理を改友は大台や他の郵減来を提	各種印發減稅可反對計	外比理由と全然不可能す五税。 案を全部委員會の对否決到少さ	爾氏 语变贵出立装	可以出现。	优法中收正法律系《中政府提出分 。 10 1 14多少能且支援研究。工程等	正法律深及岩本氏提出同余日委員	3可經過及政府提出所得稅法中收一年1月7日,	一五米さ一括すい議題の供すユヤー	(津案(岩本平蔵外六名同上)以上	区比法律案(同上)織物消費稅法:	に 一般 		○ 法律案(安達 熊隊外の名同上 論が頭をすしを置し、齧ら私、	名同上)管業稅法廢三法律案 共	祖條例廢止法律系(松下顧一四)など言語が多いですしていた。	安養療或小「名品」なる支限与「長報告」地租條令中以正法律で「	法律案(中川幸太郎外十六名》	《府提出委員長報告》地租條物際「「総税と中ビエ法律等」、じょう。	法律案質藥稅法中改正法律案、一	改正法律系、 石油消費稅法廢 江河和洋山東	得免占力发出去是长、 答案先生 一块程六二三年计二十四万	中	9 休憩者宜言なの時七四時十分 銀牌のプラ可決確定が立路最十分 朝	. 티	号希望が上い 一号 一番 できる できる できる できる できる かいりょう かいしょう かいしょう かいかい しょう	むの在かいか立其次の師節数音	の主張や牛額を国庫の資格で見	正百萬間を落路はや午	英国 や支出む 子そりの政府 と財政の事情の囚	中國家小支出員僚を者三解釋立	や 一 と 丁・ 丁 义 丁・ 丁 文 丁・ 丁 义 丁・ 丁 义 丁・ 丁 文 デース	解の引擎者市町村科婆緩和別が七理由の引き	點の行む五水楽	十日等多年中主派中四十日	台の結果を報告がい	告)争上程を後委員長田中隆三 、 法政正法規案(政府提出委員 **	第五市町村 穀務教育費	止すびよい答	分かい立窓がと訪れて達り継ずると反對対の日かり本年を共立の	相 余七三浦君司	ル考慮がり号望が上す ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	然動者小如此可想像なる國民	とは5月787811日間で	Ē	由世說明	农作中巴	朴中亚部外 对有法		在第三(恩給法案政府提出)专上 女八名鸟特別委員《川附託하り	野江村 抽機+費格+決定する	1971年 1981年 1981年	**************************************
合計三大の	順々券三への	部便属 POS 公宝安	府領金 CT COT COT COT COT COT COT COT COT COT	手金形為	切可	減少すまそれ證書∃種別交換額⇒収金額四十七萬七千二百十二圓・	の比可の枚数一千二百八十	十七個の立即を前週日日二十八杉カ白十九四	近中 9 手形交換額を	手形交換减少	大	77二十七	0	利益配當金三八八	降累計 1八八 <u>六</u> 二	111,1110,	語質社株金拂込 5000mm以及2000mm,以2000m	納約	の日其詳細七左斗如から	七十元萬三千二祭心還祭利子支	出少諸日社の利益配當其	千三百二十一萬圓刊送引 五十萬四十	台社株金拂込と朝鮮書籍	収納一千二百七十一萬関の 収納では和当代総材する古	見申朝鮮	取棚沢		活動での概念が	題也中立宣言計判時也大寺片可,數名可有計으豆藏技士一時間休人	、哲量行む後討論者小	知可以致無罪に	17有も建議案と如	を提出するると羊頭	き元対小りおびたいのみこれのみこれのおいましていません	th 5	F =	目的の引吾等せ大來の税制整理の實	整理の一端の見り	~其内容引完全計二三	班官	明明の大時五分出の豆藏長を時一	政府七英沒常職士	を必要小有も今日農民の解状 → 可以の一切を開かれたのとは、日本の一切を明めている。	可封む・管葉税中	外此	民華	でけ諸君も此様徳政策『困難』していれる。中世の世紀をは、	放税が七		成化士質行挙時期ルルリ引业官。	中能と可	· 中国 计等 左會	ATTEN MAN STAFF BATTER STAFF BATTER	NO.
更り奉天 甲婦 事事 中部	限、微菌、駱家屯ニ・科·日・中・日八日・村京城・日・田・夜中・奉	長りし	學與於可即	通すな4 ↓三同海底線→經過→・	依計・連絡	亭	日米海線全通	多姓築の日野村	局負体	育計する所で見上とで一年度像第中の改築毀詞	きの主難ない	郵便局	改築計	光化門郵便局	라	かい 特收機可增	川衣が小仏が小地	でおき施肥コ	当女武斗川シスと激司 小香日本コーラス 東東 東京 中央	大きせいのみ其他耕種法の粗放す	見き以の行かい其最もの今充分対	地打コ骨加三龙前四七斗牛叫弄消14火肥料斗如豆以三近時其生産ハ		**州耳 号忽然收穫皆無斗炒状を呈出る。 の一点 早起を選送	を全年	並以や僅可番十五	更可 耕地의 現況	切り至하り亡 今後改良者 要替及一寸費以り其他の食用作物及特用作	以良敗量の増加を來す	共結果七耕山の増加の相俟のの者で品種及利種法の敗良の任前のと	米及二三甲重要作物可	近米の在で普通後事の関ひ獎勵が一切二三事項の對すら見から引立!	今後のおの風かそ	域を脱入長が内み	2程の一歩が踏入かり合め不過か一次の中職の中生党かり僅の進歩で		なるなが、日本の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の	一千萬石輸移出高五十二萬石の遂から始政當時	次外頭の輸移出かが到と以の約11十二日本により取り	是一千四百二十岁日以月其中十二人	·最前重要让地位量占让米平對本一。 新替州至市少七月斗今晨產物中	良耳・昔日コ面	131	· 伏兄二星叶冶灰路将斗其香叶比!	《進步小照著セメサ有セパトル業 8成主講り・此作振り致力せ結果な	特前多領司經改者投前五各般四日	香水有也以中國的中本部之幼政 1	要は事が思いないないは、進れる帝人	·破迹专题节专朝鮮习開發上最前 #	通り七分三次以上が七小の中一路	Man A Man	라 む : 	開催 罗展莱技術 丛锦石 一局一長一記一下	
の近矛盾ののセント	りり参設書設のよる山いのであり、	→温穀修殺の惟一も特色の中草ノ本の一番の一番の一番を	忌憚を八窓行・ゼゼの 監祭のHれと非道不法	- 石捌係々刈干渉せがそユ境遇のようと覧信が失いの異談家異氏族の政	定可中一般政策者朝變夕改計	言う一百十十年前 ノロマット 一日	十十一万七十余萬人り小はこりな	三日無内の二級数の五週年音テュ	市事業の造成なの豆早可以一着の一年以の日本工司司工社會主義の直	そ小等中自山の幸福の至引導やける のない	下川川虚政器成立の人類を腹壁の	ス本旨のとうでの世上無限が事制の本旨のというでは、日本はのはのは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、	豆は計劃	三王侯号の此を反對하の家人多驅	1 日英日立第二菱ユヨー綏衝興の こおり 共和政	理由モデ	同株首と客頭氏巻り芸芸中まりませる地質の大き地域の中宮殿を包圍が立活佛外	學。當	-	设金命	總督府技師 太田 資生	大正十二年二月十二日	X.	比朝鮮公立實業學校教諭(七等) 1	公工實業學交收渝 久呆出敬太郎 補平壤女子高等普通學校敬諭	一下は今年は東京大学の大学の方式を	新年女子高斯普通教教諭 百瀬 計馬	女子高等響通學校	十二年二月十日	計	>)	内務規則を通過いまけた日夜の山筋が小重役自を開す	在、專材取締役朴鵬絲	厅餐二等年司注直设置中 社朝鮮苏督教彰文社《日	教彰文	上事の着手むいの引	が火生歩斗 ニードドギド別を寺ら荷溪川下水工事と河幅擴張工事と	下水工事	龍一種甲壯樹の参れ다 (未完)	・ 甘土	中上は一中のないになるというない。	目む廣原断野の一條の鐵	4.其南方+農業の可見ず以の無朴。	長春以北・	14月 一日英五十噸を掘出すり可にの中は多り十	94	耳と同時	海可搬出马。中國人食料	金數			当代十十年に、ETHERT	· 漢 · 20 年 · 19 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18	17.2年日9年6年上起便小正去十
11 1	3 3	原意·说 1500	(6)		* E	[] [] [] [] [] [] [] [] [] []	115E		· 名 有退中 永退中	小野夏貝價土	31	すいが調五十段4六七十段の至八	山寺立大街を九十三圓二十銭をす	園○三二十級の止む五角五十段。山での五个	三保勢のサル其後六七三保勢のサル其後六七三	丘十七圓か寸하ゅ步周曾が4京取七前止보い	四国の事情・観望するする。	少活况。早止屯中後傷	大新小高	後塲强保勢	O.是此前可引 10.是此前可引 10.是此前可引	て国立管十周現信七圓二十銭	豆結局七圓四十賤の止す 曳ュ五十八圓寄付 すゆ歩調五二十	可止する立週間物の七京取水	八九十浅等步引引小精司三副二十一三圆帝付引"步胡五六十錢。三一	銭の2二十銭の止むユ大新る二十五圓五十銭の付むの大新る	九十銭으로四圓の止むのユ安仏・観覚不成の五同名を四十	終亡登員で戈外に引折を囚尸鶴杓も当約千餘株取りりのみ	津のユ買方金應龍郑田田中塚門ある七鷺ブル田川崎北村市	手張り ラグブマロー・ランフト はっぱい しゅうりょう 一種 りょうしん いいしょう はいいい しゅうりょう しょうしょ しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう はいい しょう はいい しょう しょう しょうしょう しょうしょう しょう しょうしょう しょう	二十銭の豆六圓九十銭マス歩圓九十銭『※往하叶外更히七	調二四十銭の豆漸浴すり七圓の豆」	立方台が月京取七前日止價보す一○皇入龍ヨリ末傷人氣モ多少强氣	四四十銭斗鍾紡刹の二百七十四圓 11億35~16五十日高・九十三	1と質を十一周立と使うした。これ歌弱状感と止むり今朝大新り前	不用的や大新版版の影響も半遊り	可写 可以 前 褒	東紋 一二六四〇 一二六三〇	新	九六、四〇	船 四五、三〇	新 11九大、九〇 11九六、九〇 11九六、九〇 11九六、九〇 11九六、九〇 11九六、九〇 11元 11元 11元 11元 11元 11元 11元 11元 11元 11	析 かぎくつ かぎしか株 一一三、二〇 一一三、七〇		以式	月限 二四八、九〇 二四九、七〇	大月限 二四七、九〇 二四八、九〇	月級 二四四、六〇 二四四、四〇	月限 二三八、五〇 二三八、七〇月限 二三八、五〇 二三八、七〇	便場	阪三品		商况	
	注 湯 1002	物)简元。	COALI	前寄	k 但 術 要		1040		间新 部 兰 80	林 名 可遇 後場 前場	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	き屋湾コ	り 質 署 日	なずり五十七日々ズ小路で気	十七三十五銭一口呈先限七六十銭6 日	→第二節 阪地四節五十九銭の地	六丁高司初付み引	二十四圓三十五錢。至先限七二十	▲第一節 當股と不及の十中段を立人氣突然硬張が中立合がり	三節共司六十錢以俄然高報是據本	中下大坂二十九周七十五卷其後二一中軟彩是司及七日一休今前集可入	立二十四銭々 反落하中場を止む	総議員出きチェー競子とう要示は	監督司がひとり、日次的を示すのといりというという。	一勝の中二十四周七十銭と四十餘丁高價を傳ぎ平共前當市場を用然併	関係三大阪時勢의一躍七十余丁의	报道是下旬中正处厅长置上央最早 中小贩地氣配司特米筋ョ 愛 野斗七	四段ペス崩落するリー休今朝の至俄然軟勢豆轉換すり二十四圓二十	三十二年間後は、三十二日間の日本	外を小再作後男の名計・反也清報の外が開散すら一般經濟の恐惶き致	界丘衣然不旋計中從計作別长門前一便報斗如司獲正古接近む正米コ形	・ 俄然高價의警戒	足精局○四錢垃圾饭中山甘辛接付	天井男子小反祖寺野斗肖斯氏落之錢叫始却咋二節可三十六錢々又返	で情電子受する後男を大阪	(俄	二月十	仁川	111八〇	高糸南町 25四、00 元四、00 元四、00 元四、00 元 四、00 元 回、00	所全市信山 ————————————————————————————————————	明行说人 1三、六C水明初作 - CO	河。城南 一九〇、〇〇 一九〇、〇〇	同。 大A 二六四、〇〇	二七八〇〇	二月十二日前塲	京泉 糸石	大新九三	が、取り、三五四〇二五四〇二五十五〇二五十四〇二五十四〇二五十四〇二五十四〇二五十五〇二五十五	なるでは、おきなりのでは、おきないのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	短期取引後期 九三〇 九三二〇	四五二〇〇	取 五七六〇 五七二〇	.
朝建高		東亞) 简 1000	10000000000000000000000000000000000000	10000000000000000000000000000000000000	新司	1数高			***************************************	後男你名 前場 後男 前場 後	造家立口 "清清"	Ē,	に	期総 取組	質総石数	是 限	图 报	五節目	四節	二年四月七十段	一 第 5 1	公室		つきが	安價	高價	上初 質付 二二	十二日後	六節節 一一	四節 二十四周六十三銭		公公员價	健 話 ~ 八· 三番番	多年	と川米豆収	仁川府海岸町三丁目	安價價	一位 二十四個人	り高低の差か三十丁の可引 1	一年の中央十十八十年後の第十七年 一〇後買氣稍々旺盛が4八十七銭々ス 一〇夕間十十十万年 15年 15年 15年 15年 15年 15年 15年 15年 15年 15	心是 上上八支。 是那区外中的中四十五线。 里五十线为 对反高引五	の行いの 常長を不成り十中根を	小池を後七十二段の早階区が中止の地を戻る六十五銭の始ず中四銭々オ	や亦不成り可中限を四十銭一口2 節七十銭リ十丁突高す接하ュ 賞像	●第五節 阪地八節六十銭ニュ六	昭かり四銭の対心高からない三銭	現物質異 電話長六五〇番	Ⅲ 坂倉仲買店	仁川米豆取引所仲寅人	第十世紀 1 2 6 8 5 7 7 1 2 4 1 7 2 4 1 7 2 6 1 7 1 2 6 1 7 1 7 2 6 1 7 1 7 2 6 1 7 1 7 2 6 1 7 1 7 2 6 1 7 1 7 2 6 1 7 1 7 2 6 1	七節	中山中 ママン・アンド	川十銭一口三先服→六十五銭→約一本第三節 常限→不成→十五銭→加	5 ·

午後古時